

# 福島市農業委員会だより 第187号

令和7年2月

編集：福島市農業委員会事務局 発行：福島市農業委員会 〒960-8601 福島市五老内町3番1号 電話 024-525-3779(直通)



## 市長に意見書を提出しました

農業者が将来にわたり意欲と希望をもって農業に従事できる環境の整備と持続可能な農業・農村の実現に向け、その施策について具体的な意見を10月4日に木幡浩市長に提出しました。

意見書手交後、「労働力不足解消対策」と「気象災害対策」をテーマに懇談を行いました。長期的・一時的に雇用を求めて求人広告を出しても応募が少ない現状があり、農家の高齢化・後継者不足を解消するために新規就農者・親元就農者への支援の継続と強化を求めました。また、近年の気候変動や高温障害による農作物全体への影響などについても、活発な議論が交わされました。

### 昨年度の意見書から予算に反映された項目

- ① 地域計画の策定について  
人・農地プラン法定化推進  
目標地図作成
- ② 樹園地の集積・集約化について  
切らずにつなぐ樹園地継承事業
- ③ 収入保険制度等の加入推進について  
農業経営の安定化支援
- ④ 有害鳥獣被害防止のための支援について  
侵入防止柵整備事業  
鳥獣被害対策実施隊員の確保  
ツキノワグマ被害特別対策



▲農家が持続的に活動できるよう意見交換する委員と市長

## 2月末まで農業者年金加入推進強化月間です

### 農業者年金はメリットがたくさん

- ① 積立方式・確定拠出型で少子高齢化時代に強い
- ② 終身年金(80歳までは死亡一時金あり)
- ③ 支払った保険料は全額社会保険料控除の対象(所得税・住民税等の節税になる)
- ④ 一定の要件を満たす若年層には保険料の国庫補助がある(政策支援加入)
- ⑤ 保険料は月額2万円から6万7千円まで自由に決められる  
(35歳未満で④の対象とならない方は1万円から)



詳しくはこちら

### 息子たちにも勧めました

(飯坂区域) 山田 誠 農地利用最適化推進委員



私自身は旧制度の農業者年金に加入していました。息子たちには、老後の備えと、国庫補助が長く受けられるよう早めの加入を勧めていました。

た。農業者年金のメリットは、節税と80歳までは死亡一時金が保証されていることです。新制度の農業者年金は、保証が手厚いと感じますね。

加入推進をしている際、まだまだ農業者年金が知られていないと感じます。加入推進月に地区の農業委員・農地利用最適化推進委員がご自宅を訪問することがありますので、まずは話だけでも聞いてみてください。

### 視察研修会報告

(信夫区域) 半澤 幹夫 農業委員

令和6年10月29日から30日にかけて、委員の識見の向上を目的に、喜多方市農業委員会、同市教育委員会、阿賀野市農業委員会、スマートアグリ長岡(長岡市)を視察しました。

喜多方市教育委員会では、市内全ての小学校で取り組む「農業科」について説明を受けました。また、同市農業委員会と阿賀野市農業委員会では農地利用最適化活動における取り組み事例や課題について意見交換をしました。補助金を活用したソバの作付けによる遊休農地の対策支援、独自マニュアルを作成し全委員が同じ基準で活動できるよう工夫するなど、推進体制が確立した素晴らしい取り組みであると感じました。

スマートアグリ長岡では、農業用ドローンやラジコン型草刈り機、作業アシストスーツなどのスマート農業機器を体験し、次世代園芸施設の見学を行いました。農作業の省力化・簡略化に期待する一方で圃場環境や導入資金の課題もあると感じました。



▲農業用ドローンの操縦体験



▲低環境負荷の栽培施設を導入した次世代園芸温室の見学

### 5年に1度の一斉調査

### 2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)を実施しています。

農林業センサスは、5年ごとに、我が国の農林業を営むかたや農山村の実態を明らかにする調査です。調査対象の経営体には、統計調査員を通じて調査票を配布しております。

まだ回答がお済みでないかたは、配布された調査票に記載のQRコードからオンライン調査システムによりご回答いただくなど、調査への回答にご協力をお願いします。

農林業センサスに関するお問合せ先は

連絡先：農林水産省 大臣官房統計部

経営・構造統計課センサス統計室

農林業センサス統計第1、2班

電話：03-3502-5648(農林業経営体調査について)

：03-6744-2256(農山村地域調査について)



農林業センサス

### 農地における利用意向調査にご協力ください

農地法30条に基づく利用状況調査の結果「遊休農地」と判断された農地の所有者あてに農地法32条に基づく利用意向調査を送付します。

今後の農地利用についてご回答をお願いいたします。

農地の適正な管理をお願いします



## 農地に盛土・掘削を行うときは手続きが必要です！

### ～農地改良届出～

「農地改良」とは、農地の水はけを改善するために盛土や掘削を行ったり、水田を畑に変えるために盛土することを指します。農地改良を行う場合、農業委員会への届出手続きが必要です。届出の要件は、「造成高が現況より概ね1m以下」、「施工面積が1,000㎡以下」、「施工期間が3カ月以内」などがあります。また、盛土を伴う場合は、耕作に適した良質土のみを使用し、建設工事の発生土の処分や廃棄物処理などは行わないようにしてください。

### まずは農業委員会に事前相談を！！

農地における盛土や掘削をお考えの場合は、農業委員会にご相談ください。

※農地改良届出に関するお問い合わせ先

(農業委員会事務局 電話 024-525-3779)



詳しくはこちら



### 農業委員会での手続きのほかに、盛土規制法の手続きが必要となる場合があります

危険な盛土等を規制する盛土規制法が施行され、福島市では令和6年9月1日より、市内全域を規制区域に指定し規制を開始しております。農地の造成でも一定規模を超える盛土・切土等を行う際に手続きが必要となります。農地の造成を行う際には、開発建築指導課へご相談ください。

※盛土規制法に関するお問い合わせ先

(開発建築指導課 電話 024-525-3790)



詳しくはこちら



ふくしま農業富女子会  
副会長 大内美千代さん

農業の適正使用や桃の剪定、土壌作りなどの勉強会や、販路開拓・拡大のためのPOP作りなど安定した農業経営ができる人材育成を目指して活動しています。

昨年は「ももみれ図鑑&MAP」をふくしま農業富女子会が監修し、桃を擬人化して

生産者目線のプロフィールを考えました。

活動時期は10月から翌年2月で、現在31名の会員のうち、16名が福島市女性農業者で「明日の自分がもっと好きになる」を合言葉に助け合える仲間作りをしています。

また、会員同士の情報交換の場として交流会を開催し、農作業における反省点や悩みなどを話すことで、次のシーズンに活かせるような情報も得られます。

顔を合わせて情報交換がしやすい近隣の女性農業者と交流し、仲間作りがしたいかた、一緒に活動してみませんか。

農業従事者の約4割を占める重要な担い手である女性。女性同士が交流し、横のつながりを広げること、今後の農業や地域経済の発展につながります。

福島市の女性農業者が交流できる組織は、「ふくしま農業富女子会」、「福島市認定農業者会女性認定農業者協議会」、「JA女性部」などがあります。その中で福島市と他3市町の女性が活動している「ふくしま農業富女子会」の日頃の活動について、副会長の大内美千代さんに話を伺いました。

024-521-2604  
福島県北農林事務所農業振興普及部

つながる 女性農業者

## 農林業振興基金を活用しませんか？

### 農林業振興基金とは

農山漁村再生可能エネルギー法に基づき、再生利用が困難な荒廃農地等に設置された太陽光発電施設の事業者から拠出される寄付金を原資とした基金です。

福島市では、この基金を活用し次世代に向け持続成長する農業の実現のため、地域の課題解決に必要な取り組みを支援しています。



詳しくはこちら

## 適期防除に努めましょう

- ・農薬のラベルをよく読み適正に使用しましょう。
- ・病害虫発生予察情報等を活用し、適切に対応しましょう。



病害虫の発生状況や  
防除情報はこちら  
福島県病害虫防除所(郡山市)

# 令和6年度「農業ふれあい体験事業」

今年度は大学生5人が企画・運営に初めて参加し、耕作している農地の約半分が樹園地の北福島区域で、市内の親子8組がりんごの摘果から収穫までの作業を体験しました。

参加者は、関連施設やりんご畑に足を運び、実際に農作業を体験する中で、収穫の喜びや、育てた作物を食べる楽しさも味わい、農業への興味や親しみをもつことができました。

第1回  
R6.5.25

農業総合センター果樹研究所見学とりんごの摘果作業を体験しました。



第3回  
R6.11.16

JA共選場見学とりんごの収穫作業を体験し、収穫したりんごを調理しました。



第2回  
R6.10.19

道の駅ふくしま見学とりんごの葉摘み作業を体験しました。



## 令和6年度 参加者の声

声

初めて見る農業機械の迫力に驚きました。

摘果から収穫まで一連の作業が体験できて、とてもいい機会でした。

自分が作業した木のりんごが育っていて嬉しかったし、それを収穫できて楽しかった。

回を重ねるごとに、普段から品種が気になったり手に取ってみたいと、農作物への見方が変わりました。

どの回も普段は見られないような場所を見学でき、参加してよかった。来年もぜひ参加したい。

農家さんが分かりやすく丁寧に教えてくれるので、楽しく学べて毎回参加するのが楽しみでした。

令和7年度の参加者募集は4月頃を予定しています

切らずにつなぐ樹園地継承事業  
登録樹園地募集中！



詳しくはこちら

福島市LINE公式アカウントでは、  
農業関係者向けのお知らせを指定  
して受信できます。



友だち追加

### 貸したい・売りたい農地情報

新規で農業をやってみたいかたや、  
もう少し農地を借りて経営規模を拡大  
したいかたは是非ご参照ください。



ココから見てね☆

農業委員会の活動が見え～る会報誌  
「ミエ～ル通信」

ホームページで公開中☆

